

現在の研究所各調査及び研究課題のとりまとめ

□ J A カレッジ 委託事業 研究班会議

(一〇月二七日)

今年度、J A カレッジから受託した課題について、研究者が
同席して打ち合わせを行いました。

□ 北海道国際交流・協力総合セン

ター (HIECC) が来所

(一〇月一八日)

HIECC の吉村研究員が、ロシア・ノボシビルスク州投資発展
エンジニアリングのヴィクトロビチ
理事長を伴い来所されました。北
海道の農業・食品産業との事業連
携や、ロシア新技術の北海道での
活用可能性に関する情報収集を目的
としており、これらに関わる課



左から飯澤所長・吉村研究員・ヴィクトロビチ・通訳

題について情報交換をおこないました。

□ 日韓シンポジウムへの参加

(一〇月三日～二四日)

当研究所から、飯澤研究所長をはじめ四名の研究員が参加
しました。この内容は、今号の「研究所だより」に掲載していま
す。

□ ホクレン一〇〇年史編纂支援業務に係る最終研究班会議

(一〇月二四日)

ホクレンから受託した課題の、研究班会議を開催しました。

□ 北農五連委託事業 研究班会議

(十一月二日)

今年度、北農五連から受託した課題について、中間報告をお
こないました。



北農5連（11月2日）

□北農五連委託事業研究班会議

（十一月一五・二二日）

今年度、北農五連から受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□自主研究「准組合員に関する調査研究」研究班会議

（十一月一五日）

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□自主研究「消費者交流事業の展開とその効果」研究班会議

（十一月二八日）

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□第四回理事会の開催

（十一月三〇日）

新規会員の加入、平成二九年度の事業進捗状況、調査研究事業の実施状況などについて報告しました。

□北海道農業公社委託事業研究班会議

（十一月一六日、十二月一五・二二日）

今年度受託した課題について、研究者が同席して研究班会議を開催しました。

□北農五連委託事業研究班会議

（十二月二〇日）

今年度受託した課題について、研究者が同席して研究班会議を開催しました。



自主研究会議（11月28日）

□モニター会議・講演会の開催

（十一月二〇日）

農業者の生の声を聞かせることでタイムリーな地域の情報を収集して、情勢の変化に的確に対応した調査研究を推進する為に、農業者モニター七名の出席により、モニター会議を開催しました。会議に続いて、北海道大学大学院農学研究院教授坂爪浩史氏に、「農畜産物食料市場のニューウエーブ」という演題でご講演頂きました。会議および講演の内容は、今号の「研究所だより」に掲載しています。